

熊本県内経済情勢報告

令和7年4月

財務省九州財務局



九州財務局に関する情報はこちら！！



ホームページ



X(旧Twitter)



Facebook

(問い合わせ先)

財務省九州財務局経済調査課

TEL 096-353-6351 (代表)

ホームページアドレス

<https://lfb.mof.go.jp/kyusyu/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している」

項目	前回（7年1月判断）	今回（7年4月判断）	前回比較
総括判断	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している	→

（注）7年4月判断は、前回7年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（7年1月判断）	今回（7年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している	→
生産活動	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	→

設備投資	6年度は減少見込み	6年度は減少見込み	→
企業収益	6年度は増益見込み	6年度は増益見込み	→
住宅建設	持ち直している	持ち直しのテンポが緩やかになっている	↘

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、物価上昇、通商政策などアメリカの政策動向、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している」

百貨店・スーパー販売は、緩やかに回復している。コンビニエンスストア販売は、堅調である。ドラッグストア販売は、堅調である。ホームセンター販売は、横ばいの状況にある。家電大型専門店販売は、持ち直しつつある。乗用車の新車販売は、持ち直している。宿泊は、緩やかに持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- バレンタイン催事は、自分へのご褒美として少し高めの商品を買う傾向があり、ブランド品などの特別感のある商品がよく売れた。時計、宝飾、美術などの高額品は引き続き好調である。(百貨店・スーパー)
- 食料品について、野菜の価格が高くなっているなか、特売日は好調だが、イベントがない日は苦戦している。総菜や冷凍野菜などは、時短や使い勝手の良さから共働きの方などに購入されており、好調である。(百貨店・スーパー)
- 売上高が来館者数以上の伸びとなっており、値上げが続くなかでも購買意欲は衰えていないと考えている。(大型商業施設)
- 客足、買上点数が前年割れのなか、お得感のある商品や地域性のある商品を投入し、売上げに貢献している。また、人流が増加している地域の店舗の売上げが伸びている。(コンビニエンスストア)
- 米の価格高騰の影響が大きく、値上がりした分の消費者の節約意識が強くなり働き、菓子等のし好品の売上げが伸びていない。(ドラッグストア)
- 今年の冬は例年に比べ寒かったため、カイロや灯油関連などの季節商品の売れ行きが良かった。一方、園芸関係は外での作業ができず売れ行きが弱かったが、3月後半になり暖かくなったことで動きが出ている。(ホームセンター)
- 電気代高騰を意識して省エネ性能モデルが好調であるものの、老朽化での買い替えがメインとなっている。(家電大型専門店)
- 認証不正問題から回復し例年どおりに戻っている。また今年度は多数のモデルチェンジが予定されており、期待の声を聞いている。(自動車業界団体)
- 1月から3月にかけての宿泊者数は順調という話を宿泊施設から聞いている。旅行商品の売れ行きも好調。(公的機関)
- 4月以降の予約も好調。多くの問い合わせがあり、GW前後は予約が埋まっている旅館もある。(宿泊業界団体)
- 春節にインバウンド客が大幅に増加した。(飲食業界団体)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直している」

汎用・生産用機械は、半導体製造装置を中心に高水準を維持している。食料品等は、外食向け需要が堅調なこともあり、持ち直しつつある。電子部品・デバイスは、一部に弱さがみられるものの、高付加価値製品を中心に高水準を維持している。化学は、横ばいの状況にある。

- 中国向けの半導体製造装置の需要は落ち着きがみられている一方で、台湾向けが増加していることから、生産台数は前年を上回っている。(汎用・生産用機械)
- 外食産業向け、量販店向けともに堅調に推移しており、新商品の売行きも引き続き好調である。(食料品等)
- スマートフォン市場は緩やかな回復基調が継続している。引き続き高い生産水準となっており、高付加価値化により生産額は前年を上回っている。(電子部品・デバイス)

■ 雇用情勢 「持ち直している」

有効求人倍率は、このところ低下している。新規求人数は、前年を下回っている。企業の人手不足感は、高い状況が続いている。

- 前年の反動や外国人雇用の動きなどによる一部充足がみられるが、人手不足は継続しており、引き続き堅調に推移している。(公的機関)
- 中途採用はハローワークや求人サイトで随時募集しているが、なかなか応募がない。(金属)
- 人員が不足しているが、従業員を増やせばその分人件費が増加するため、積極的に募集していない。(卸売)
- 働き方の多様化に取り組んだところ応募がくるようになり、従業員の労働環境の改善にもつながっている。(運輸・郵便)

- 設備投資 「6年度は減少見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年1-3月期
 - 製造業、非製造業ともに減少見込みとなっている。
- 企業収益 「6年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年1-3月期
 - 製造業では増益見込み、非製造業では減益見込みとなっている。
- 住宅建設 「持ち直しのテンポが緩やかになっている」
 - 新設住宅着工戸数(6年12月~7年2月)をみると、持家、分譲住宅は前年を上回っているものの、貸家は前年を下回っている。

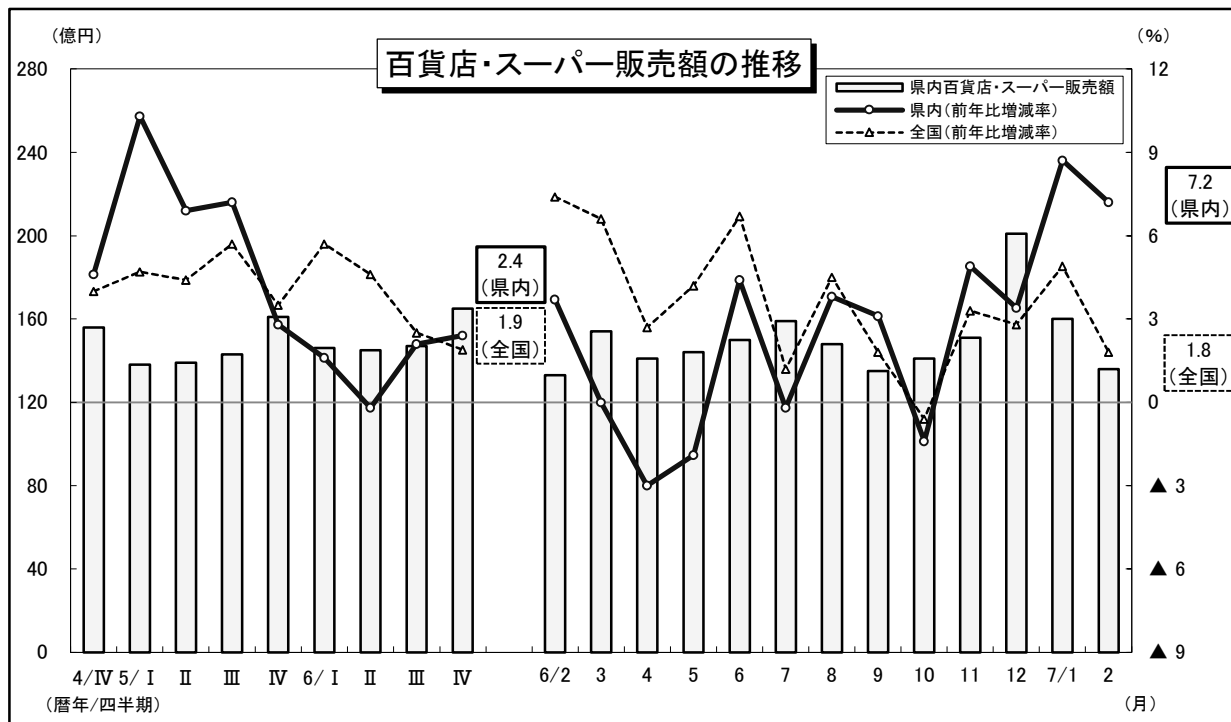
【その他の項目】

- 企業の景況感 「現状判断は『上昇』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年1-3月期
 - 7年1~3月期の景況判断BSIをみると、全産業では「上昇」超となっている。
先行き(全産業)をみると、7年4~6月期は「上昇」超の見通しとなっている。
- 公共事業
 - 公共工事請負金額(6年4月~7年2月累計)をみると、前年度を下回っている。
- 倒産
 - 企業倒産(7年1~3月期)は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回っている。

【参 考 資 料】

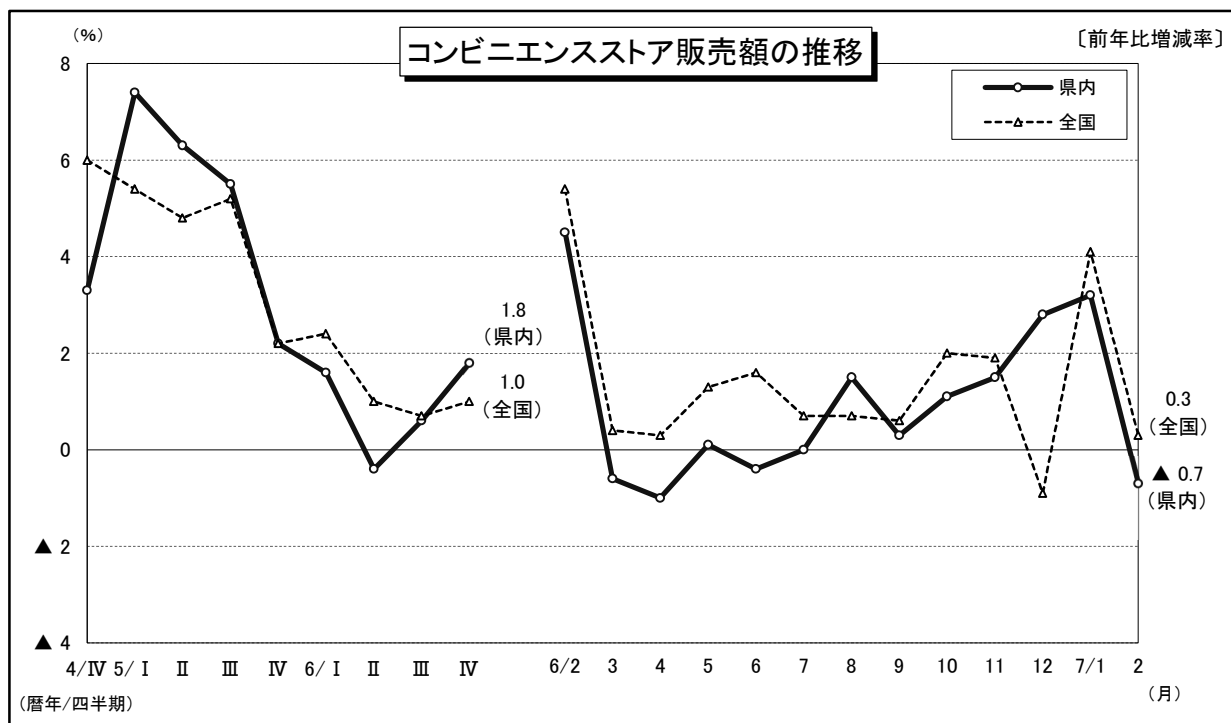
1. 個人消費	参-1
2. 生産活動	参-4
3. 雇用情勢	参-5
4. 設備投資	参-6
5. 企業収益	参-6
6. 住宅建設	参-7
7. 企業の景況感	参-8
8. 公共事業	参-9
9. 倒産	参-10

1. 個人消費



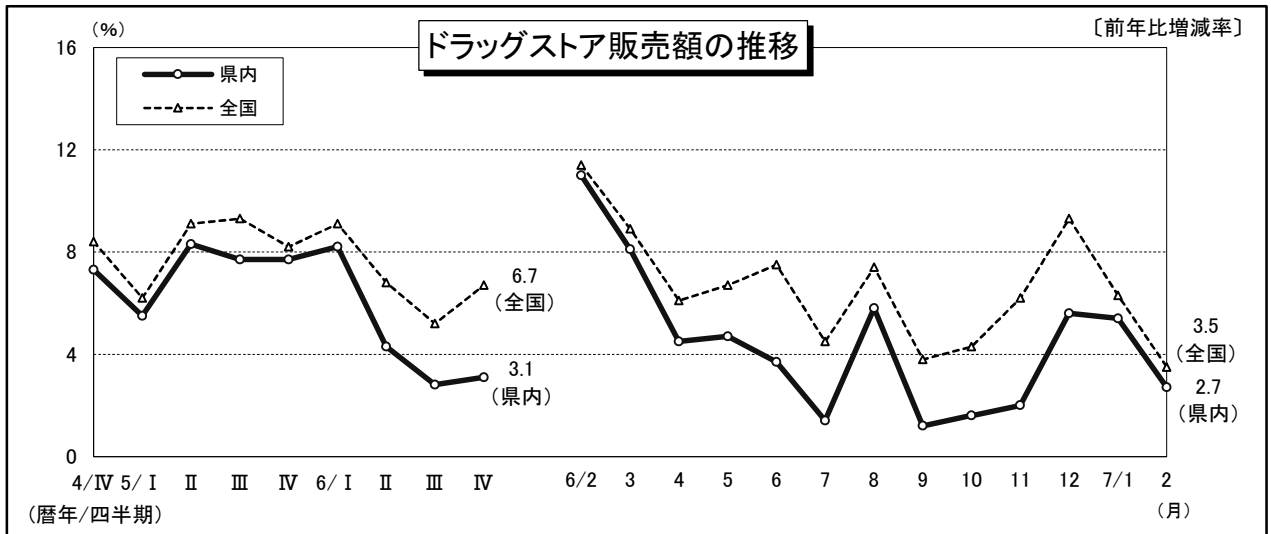
(注) 全店ベース。四半期の棒グラフは月平均。7年2月は速報値。

[資料: 経済産業省]



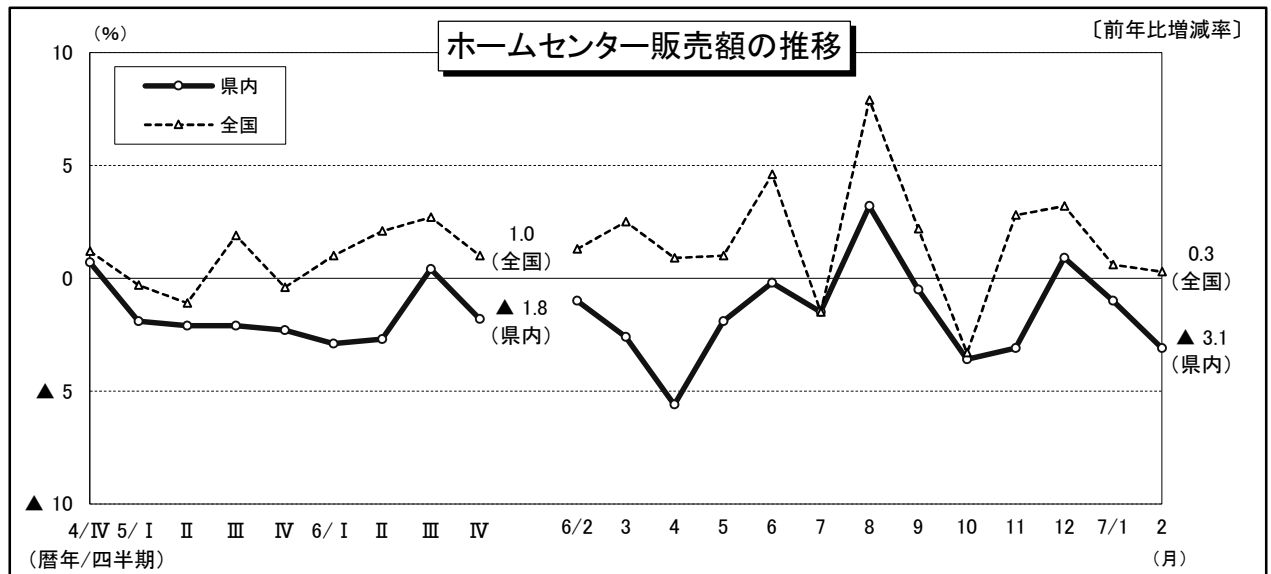
(注) 全店ベース。7年2月は速報値。

[資料: 経済産業省]



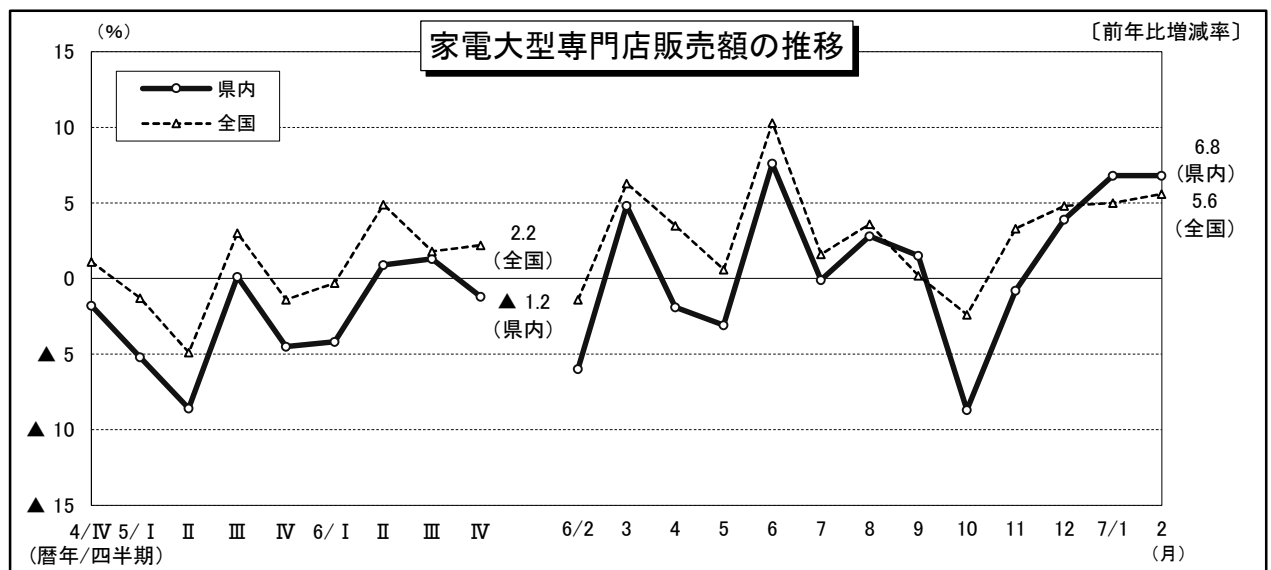
(注) 全店ベース。7年2月は速報値。

[資料: 経済産業省]



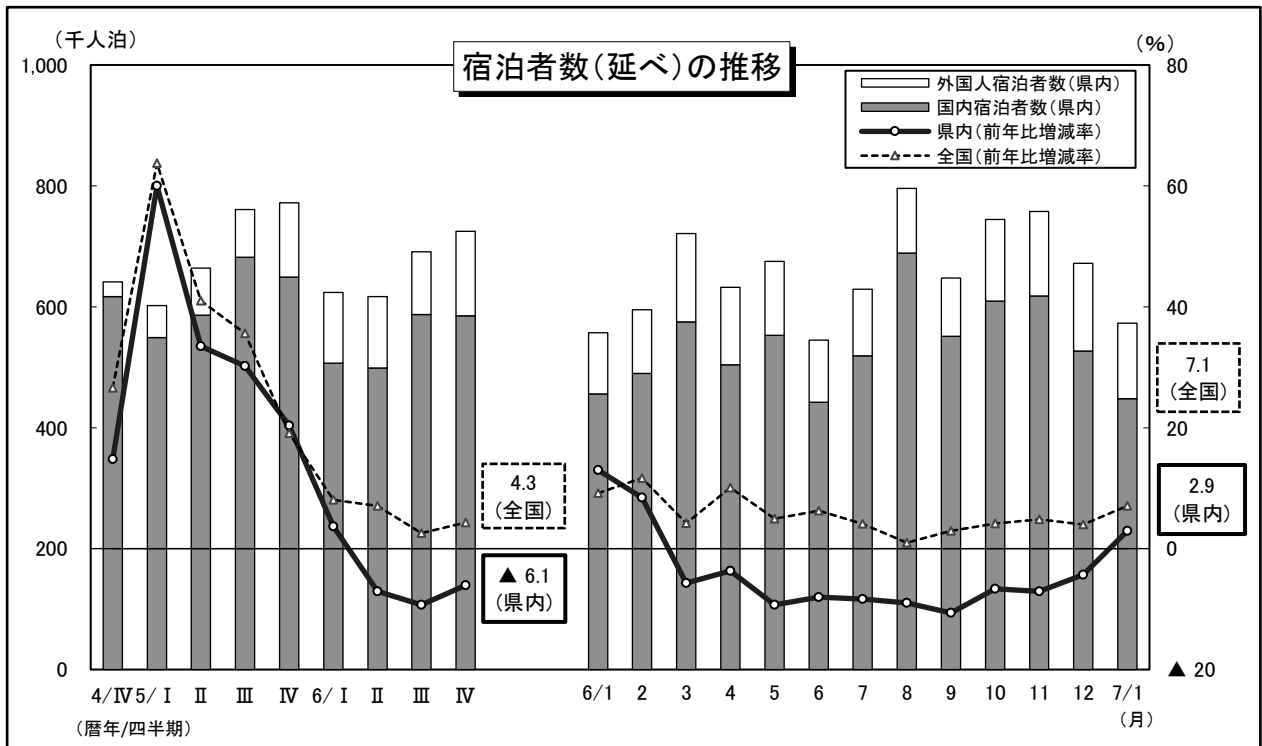
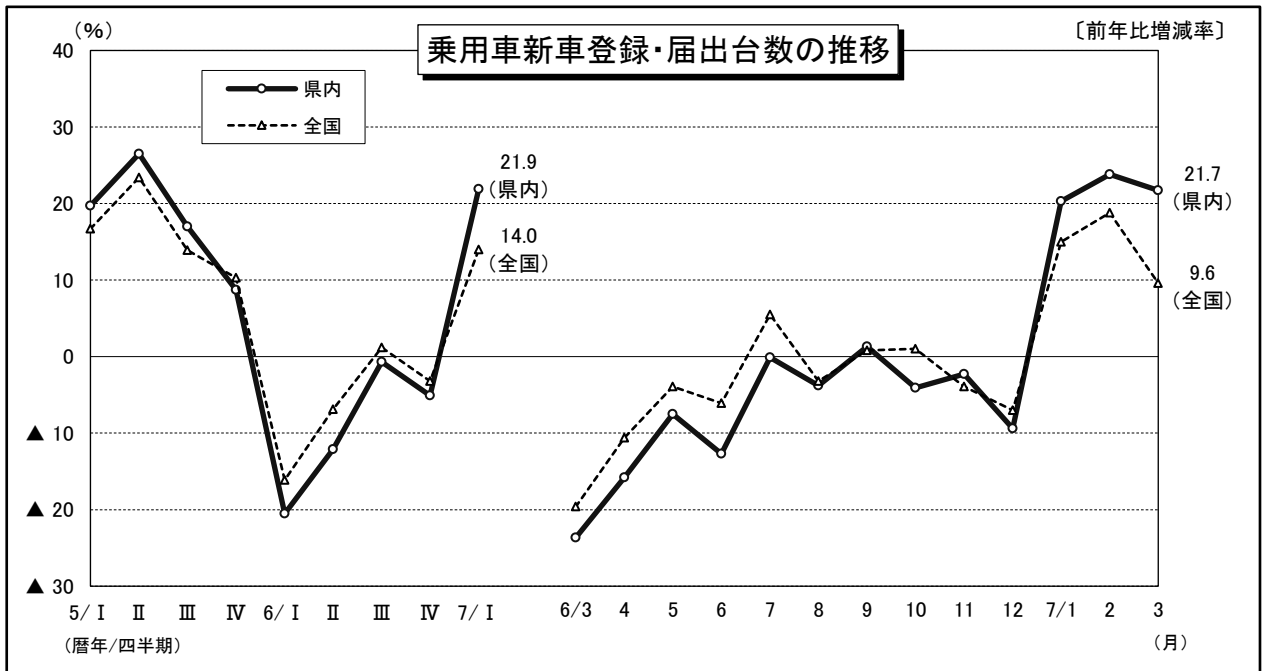
(注) 全店ベース。7年2月は速報値。

[資料: 経済産業省]

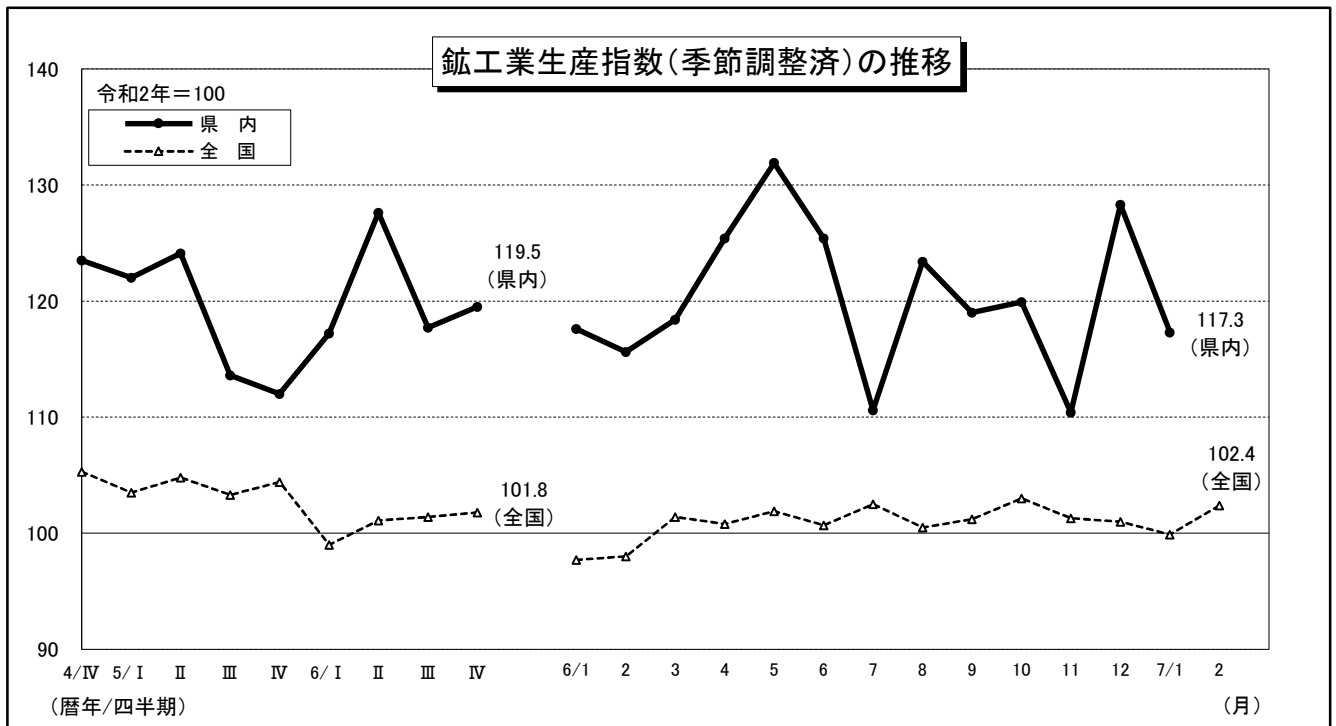


(注) 全店ベース。7年2月は速報値。

[資料: 経済産業省]

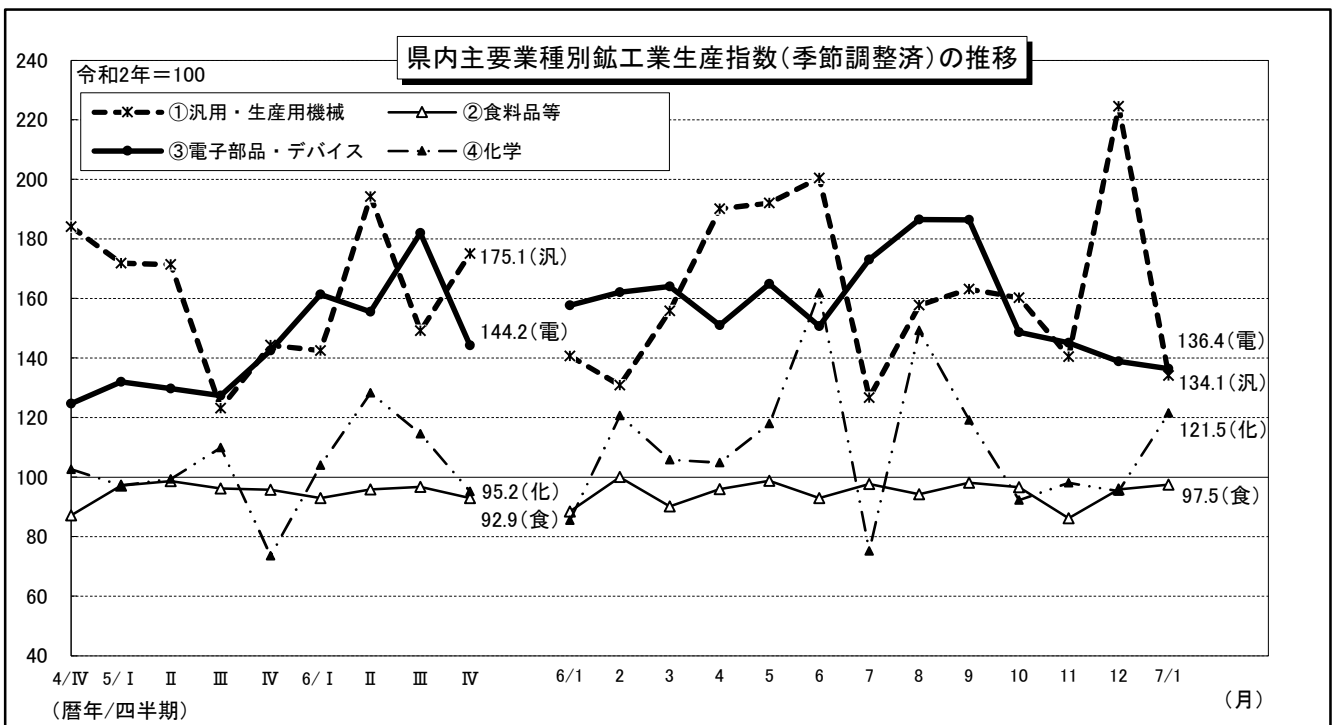


2. 生産活動



(注) 全国の7年2月、県内の7年1月は速報値。

[資料: 経済産業省、熊本県]

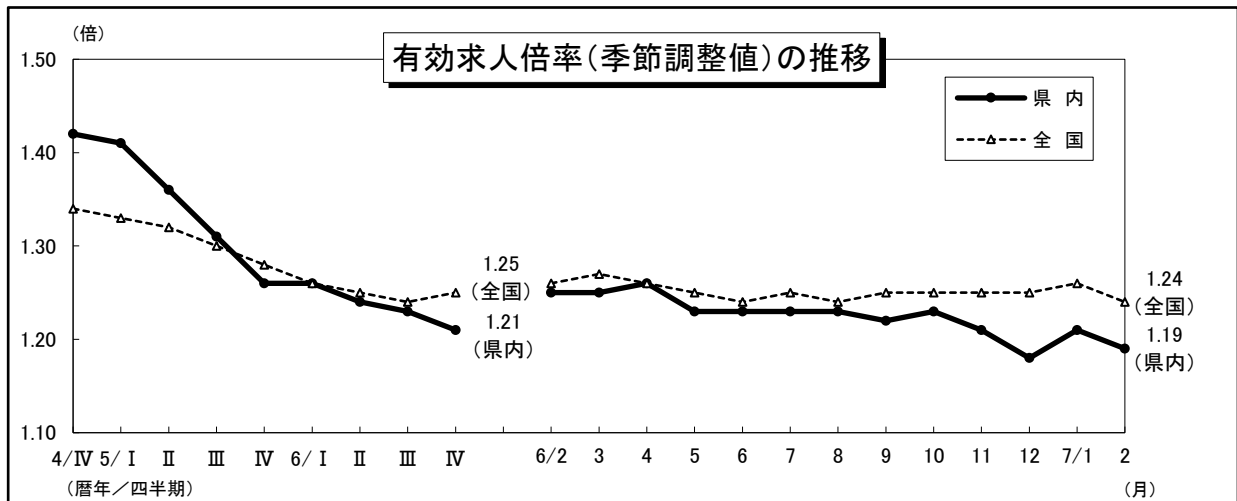


(注) 1. 7年1月は速報値。

2. ○数字は、県内におけるシェア順位。

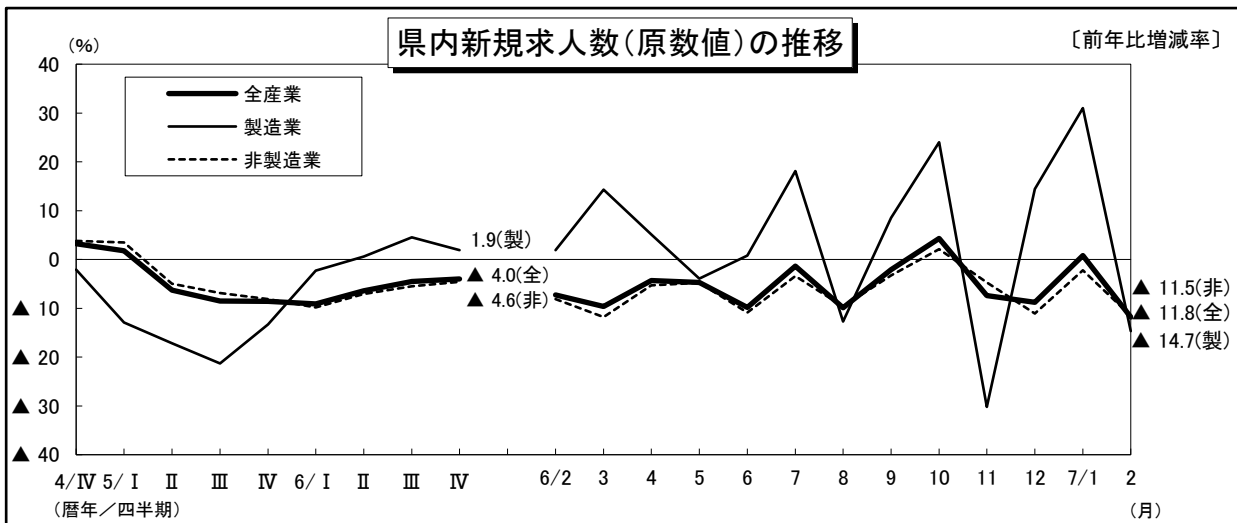
[資料: 熊本県]

3. 雇用情勢



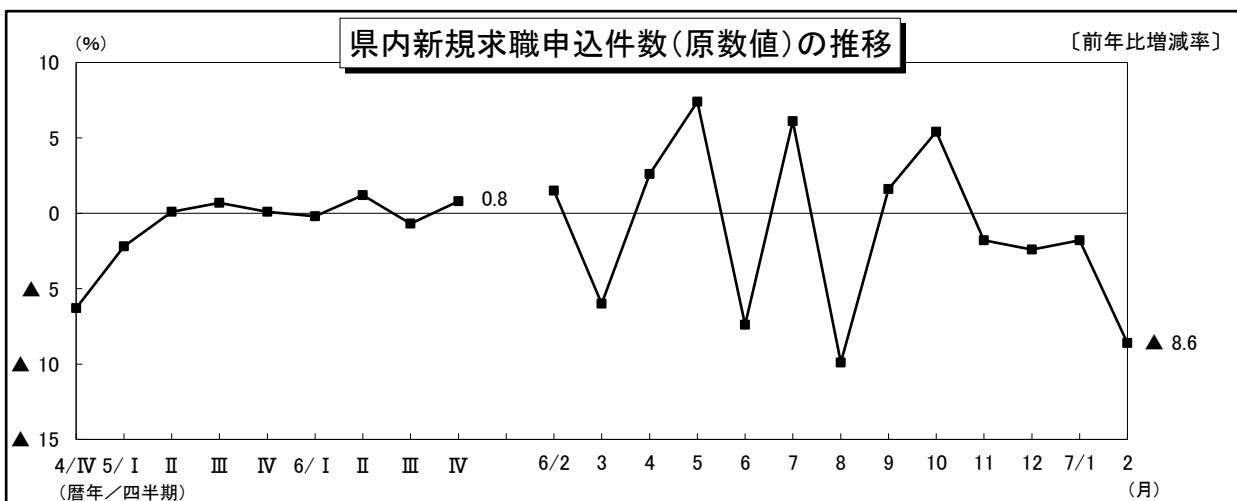
(注)パートを含む。

[資料:厚生労働省]



(注)パートを含む。

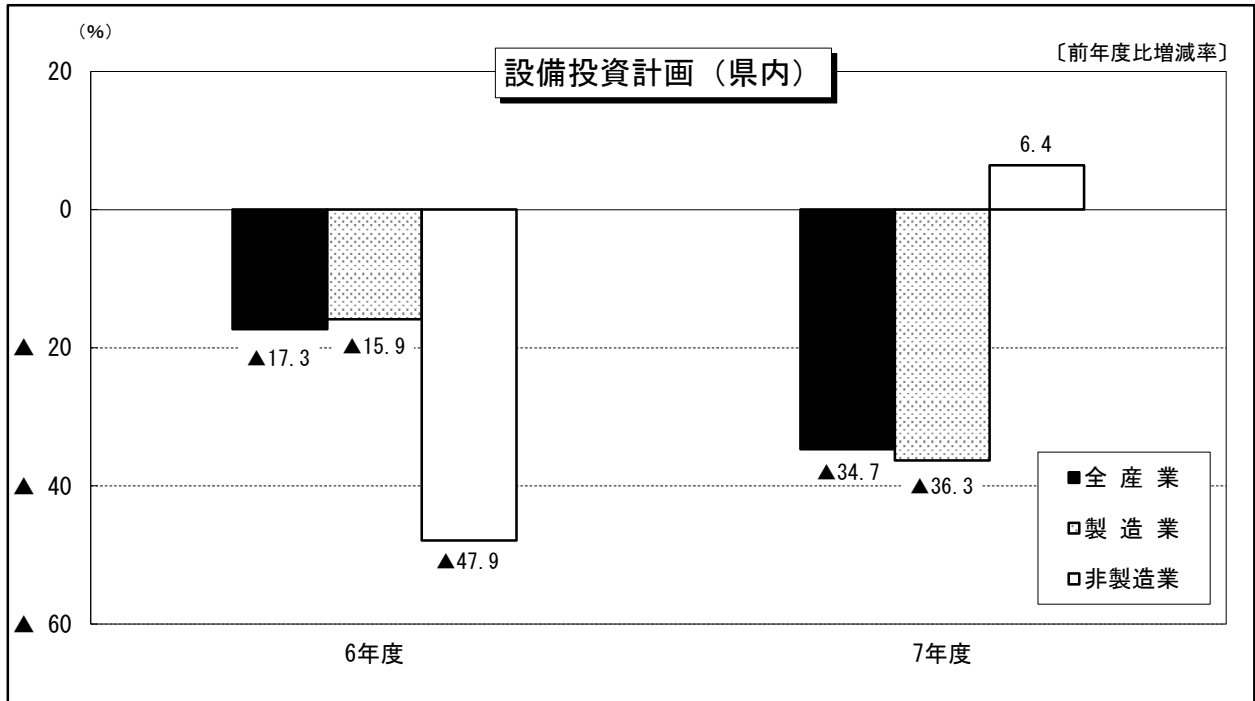
[資料:厚生労働省、熊本労働局]



(注)パートを含む。

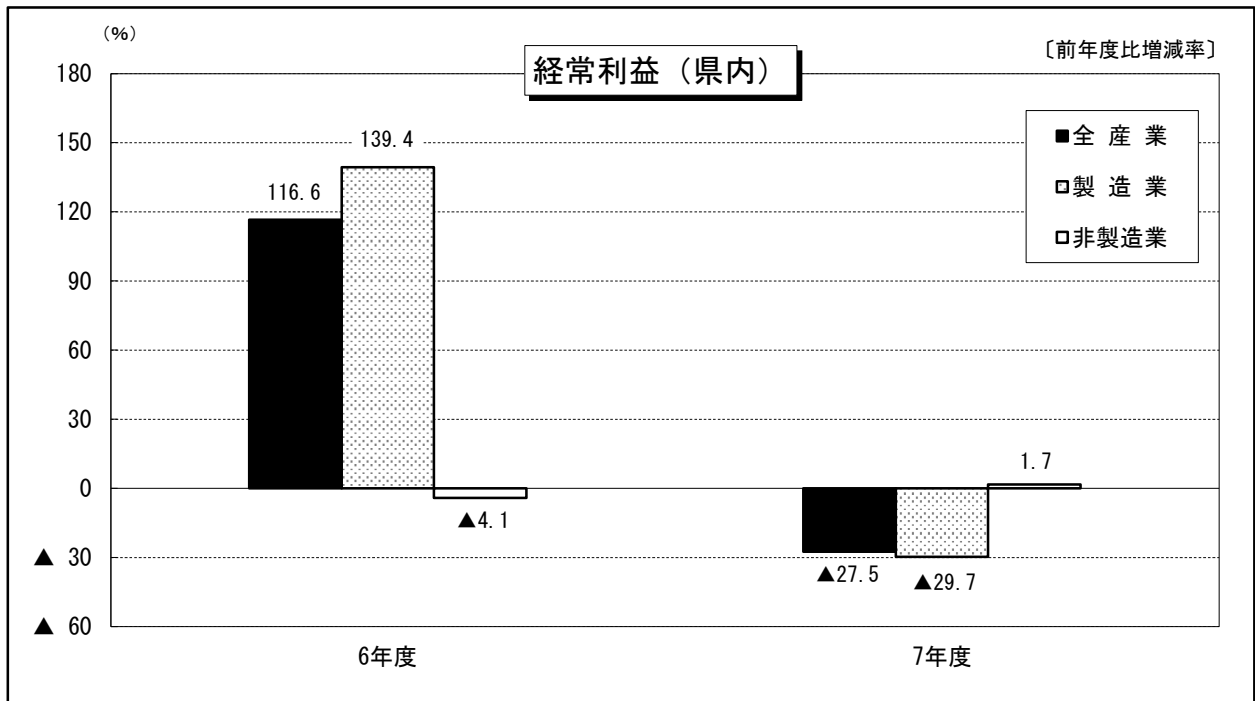
[資料:厚生労働省]

4. 設備投資



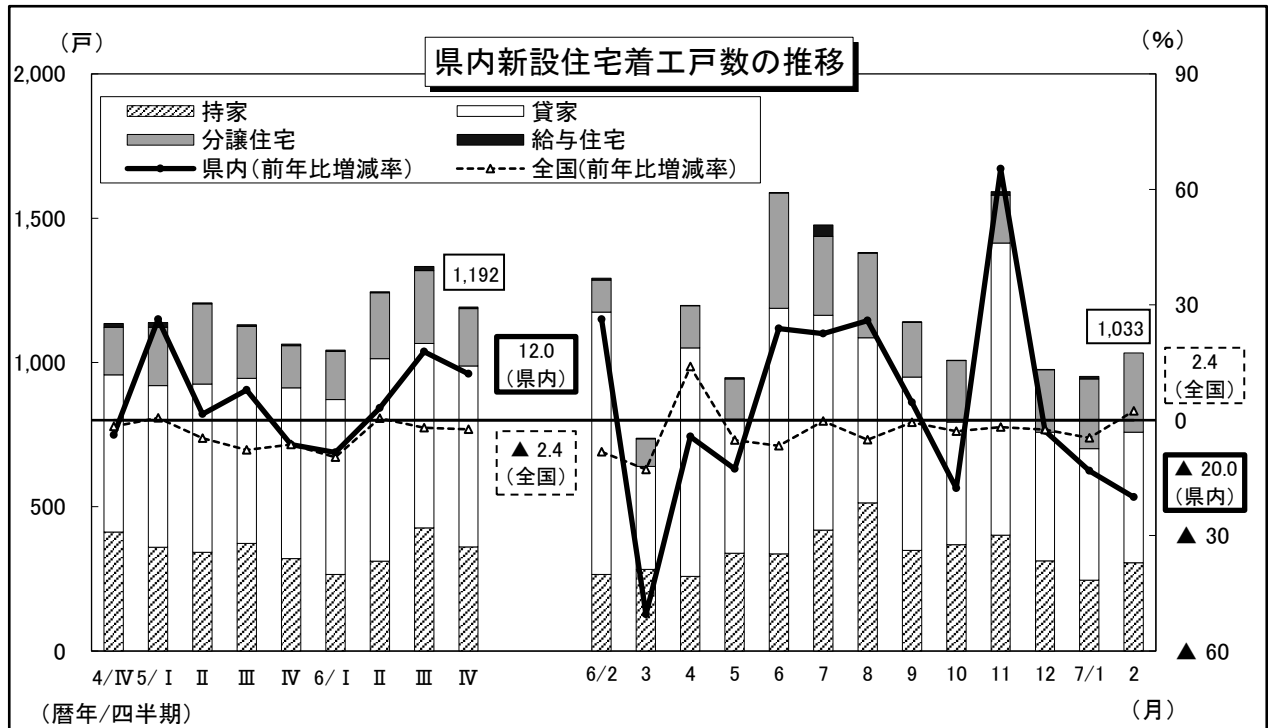
[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

5. 企業収益



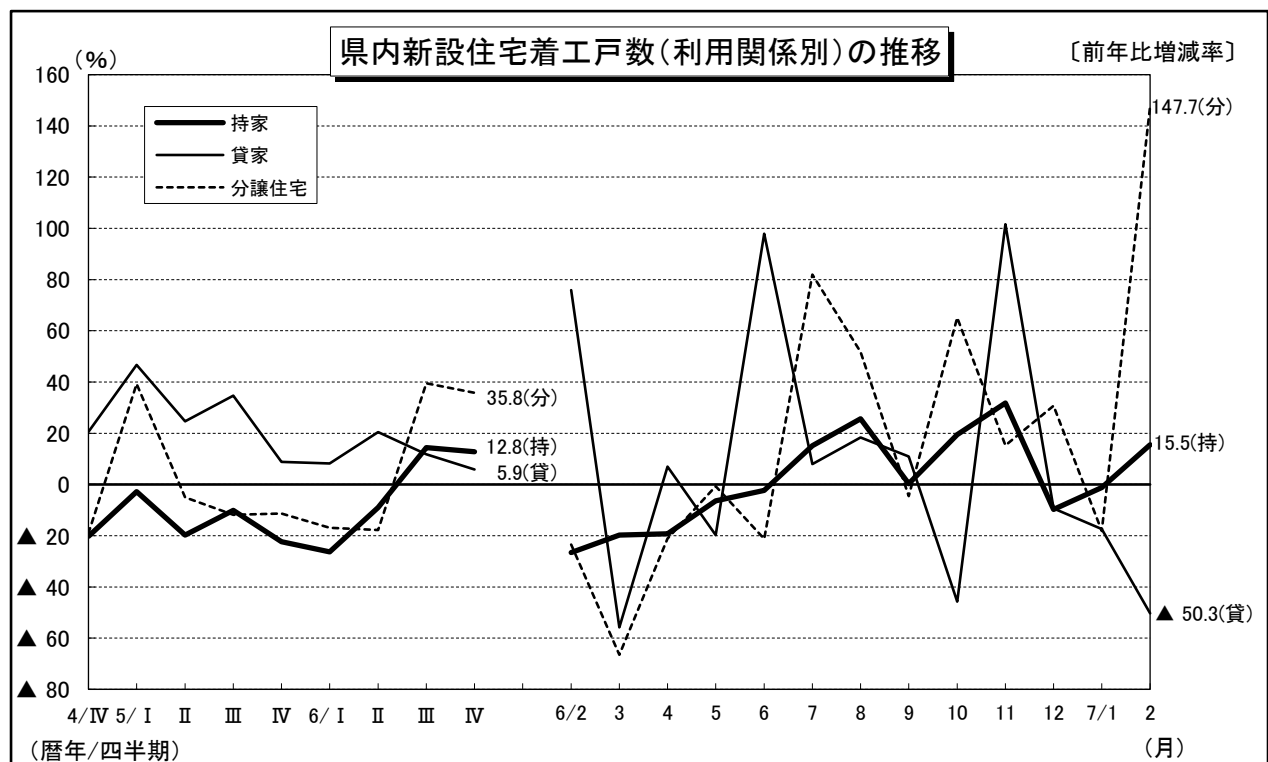
[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

6. 住宅建設



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

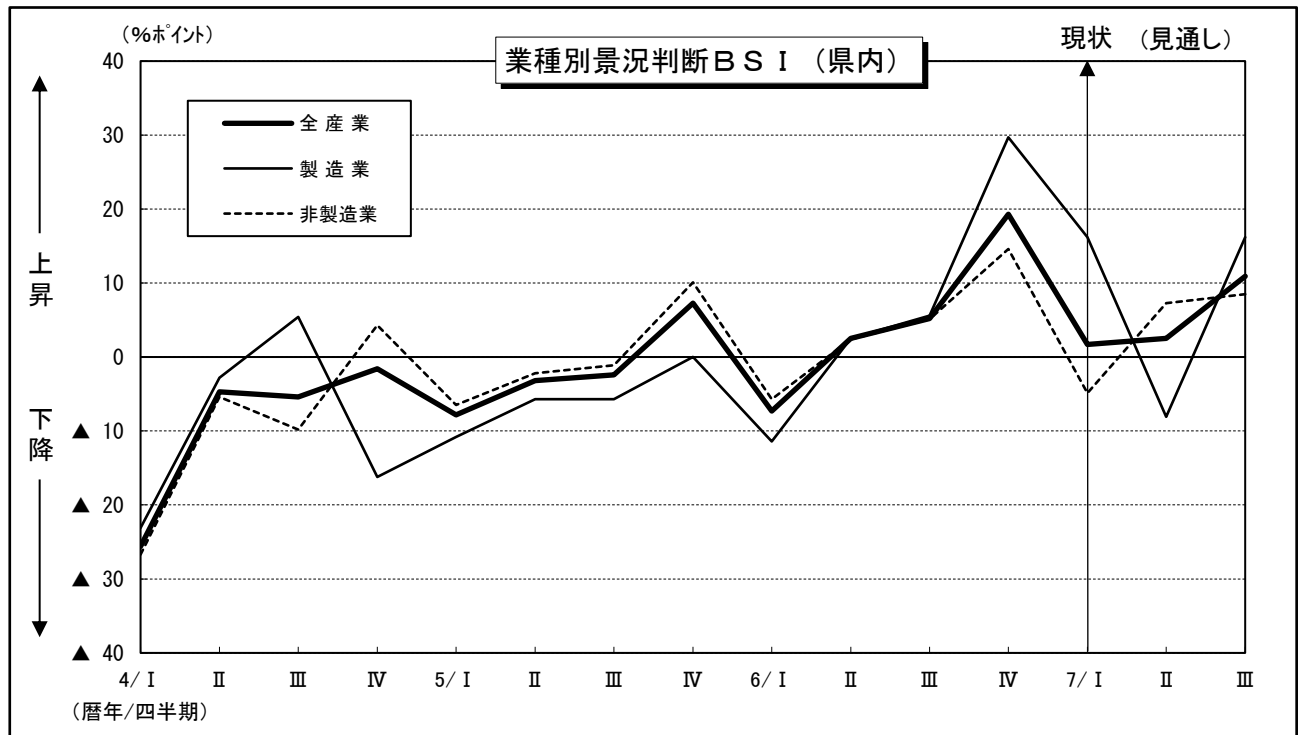
[資料: 国土交通省]



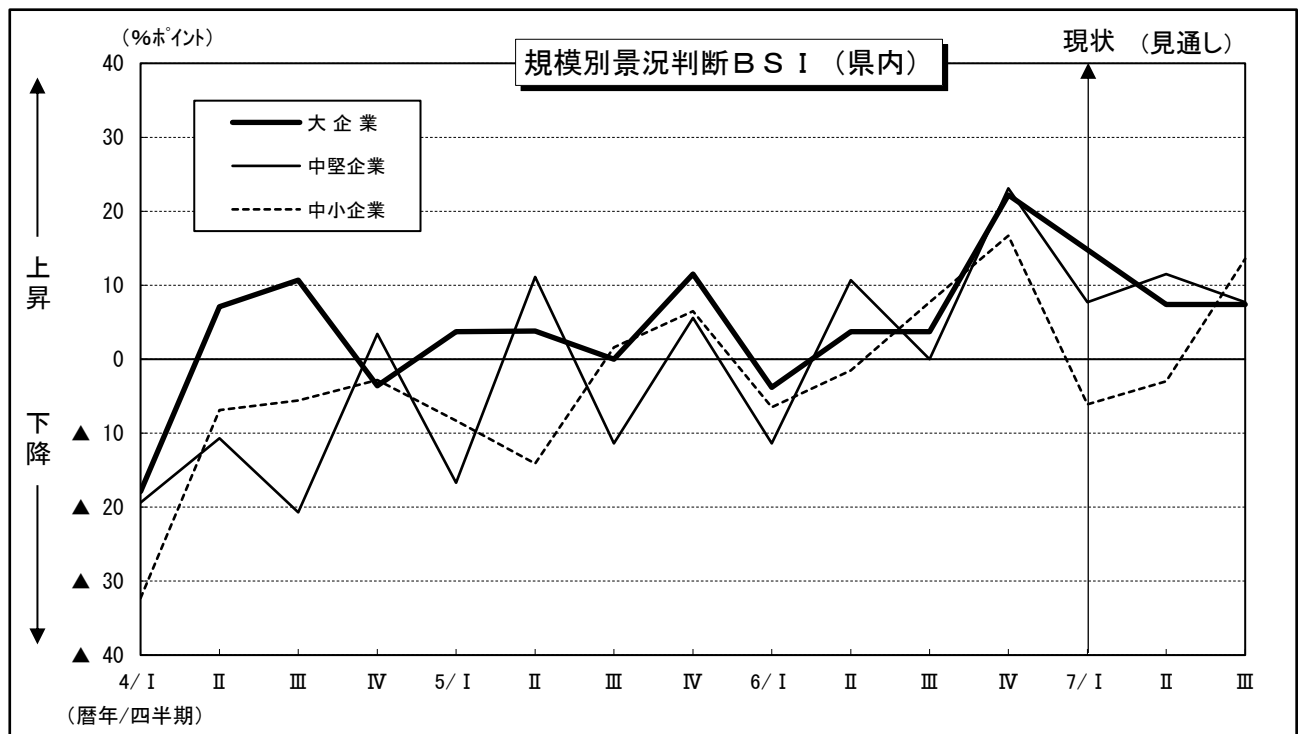
(注) 給与住宅については、些少であるため表記していない。

[資料: 国土交通省]

7. 企業の景況感

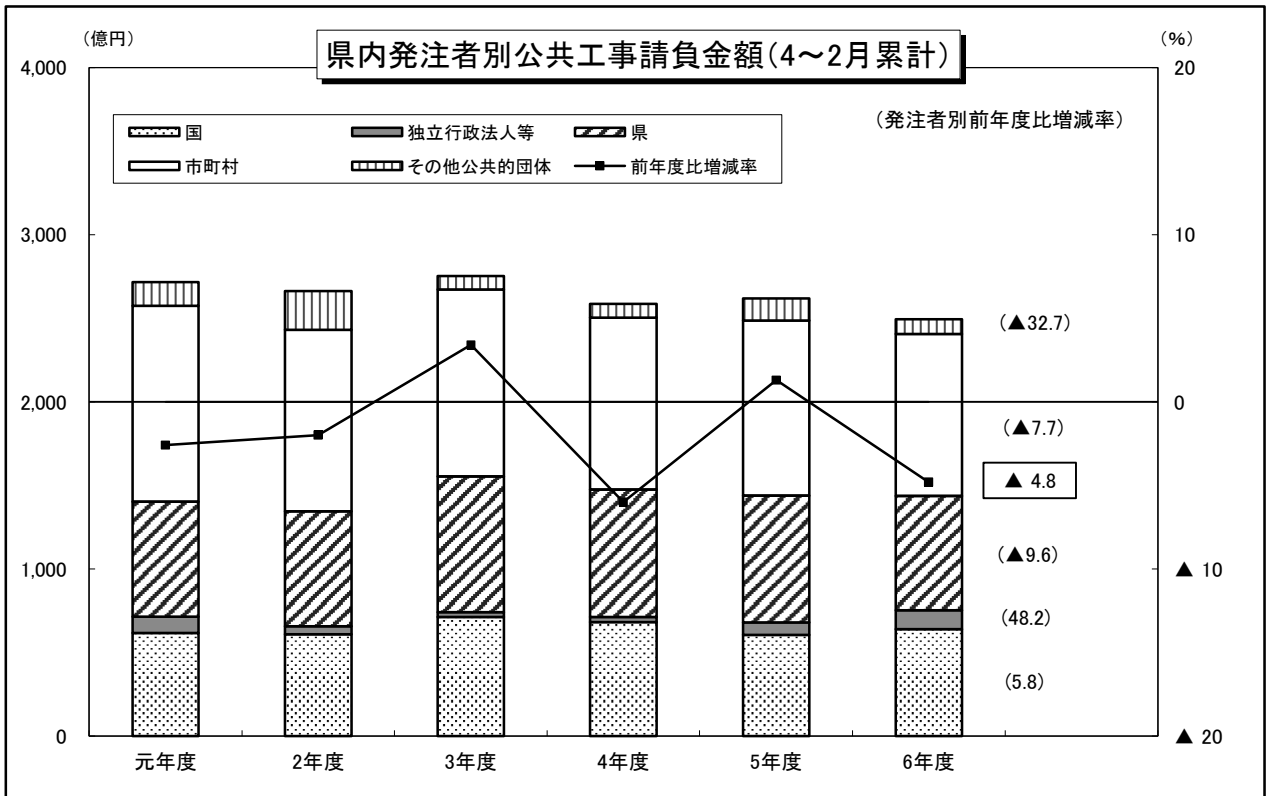


[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

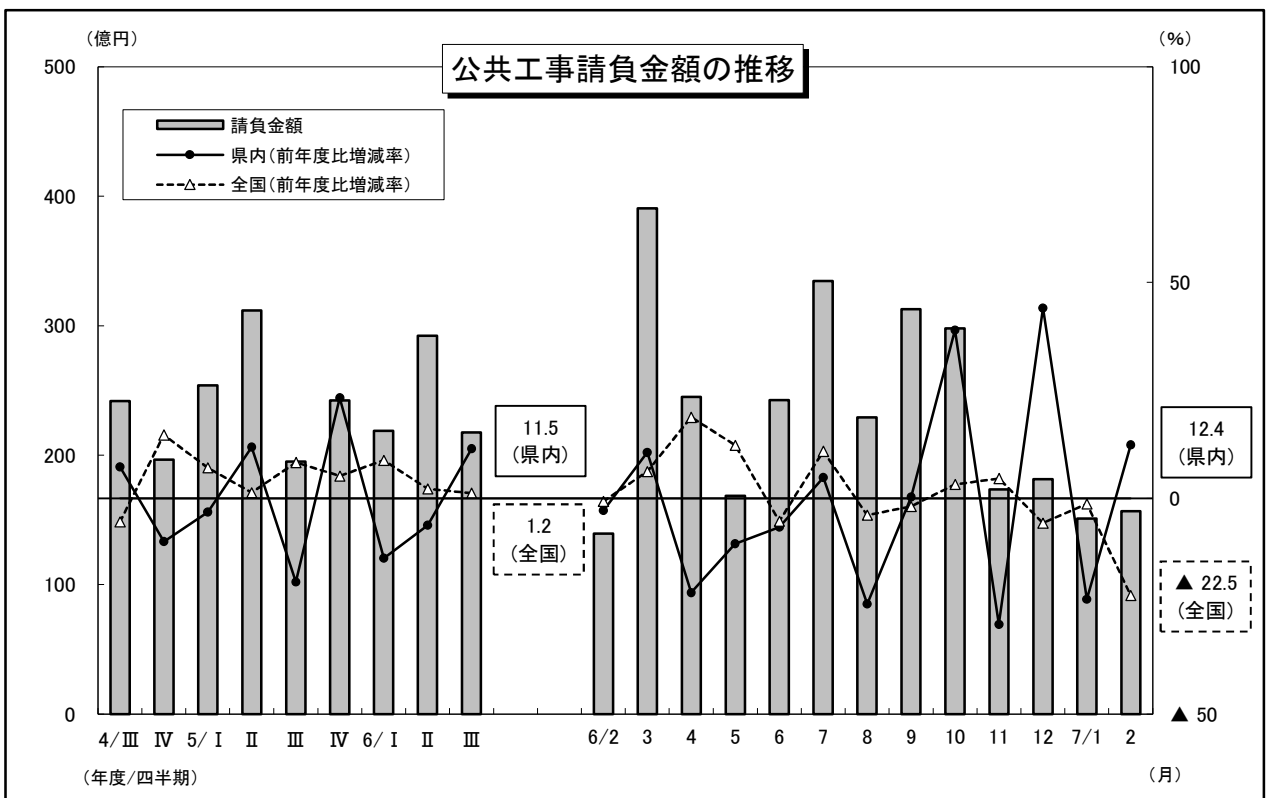


[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

8. 公共事業



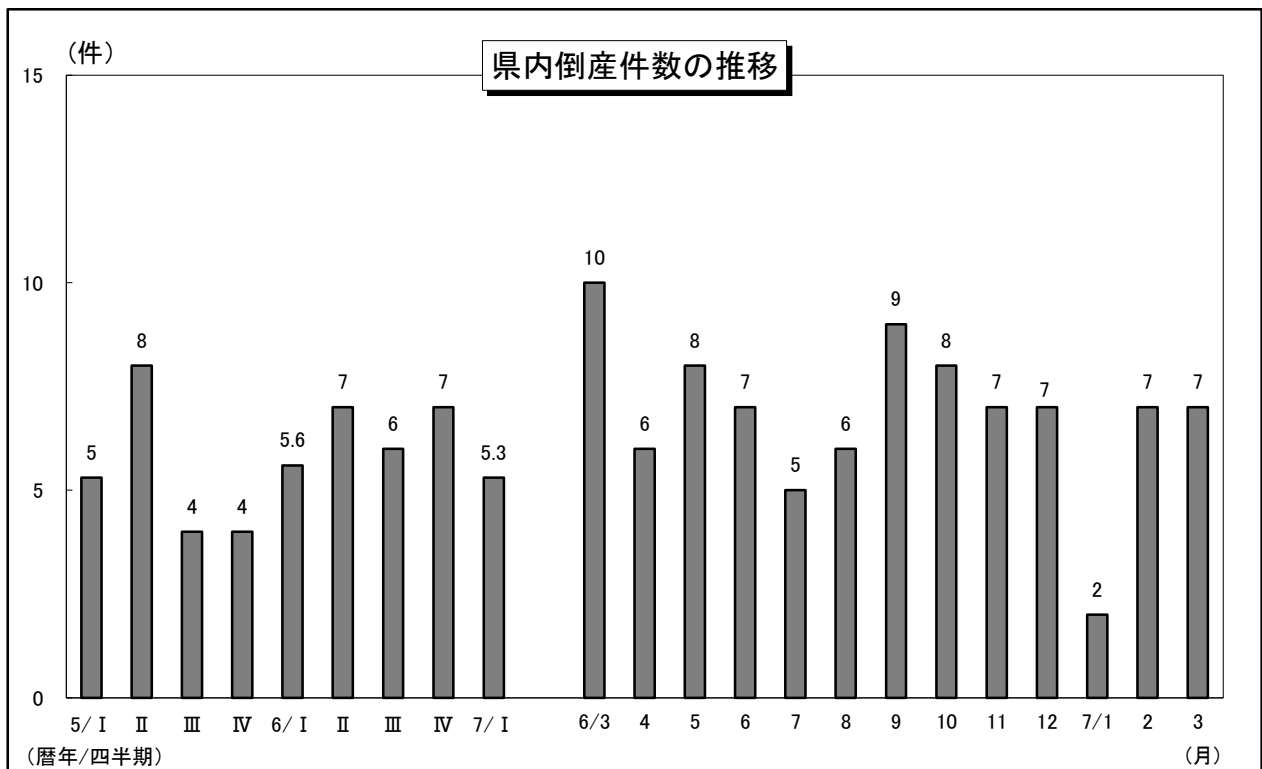
[資料:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

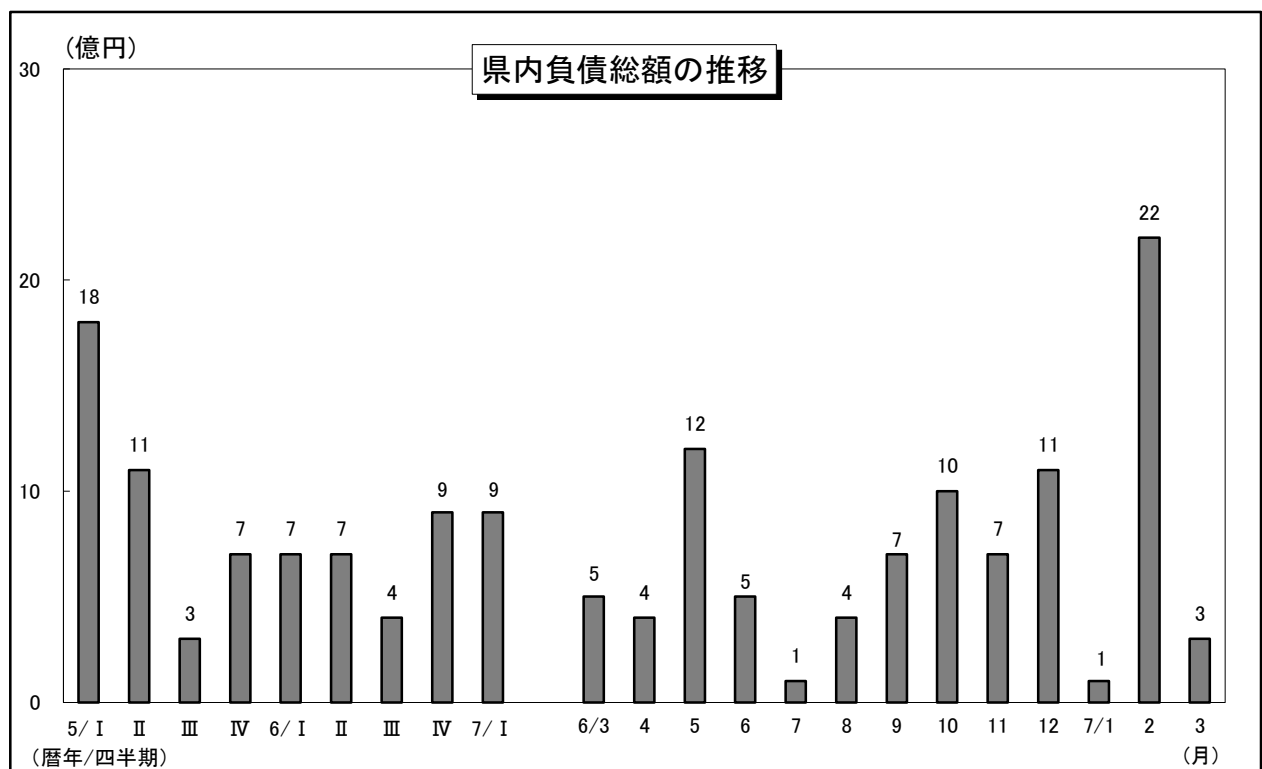
[資料:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]

9. 倒産



(注)四半期の棒グラフは月平均。

[資料:東京商工リサーチ]



(注)四半期の棒グラフは月平均。

[資料:東京商工リサーチ]